

学校だより

くすのき

5月号



ホームページはこちらから→

令和 8年 5月 1日
横浜市立本牧南小学校



副校長 関谷 康之

多くの人々に支えられる本牧「南っ子」

日頃より、本牧南小学校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。さて、今月は、南っ子たちが毎日を安心して過ごすことができるよう、日々の学校生活を丁寧に支えてくださっている方々についてお伝えしたいと思います。

朝、校門を入ると、きれいに整えられた花壇や校庭があります。丁寧に手入れをしてくださったおかげで、今年は藤の花が見事に咲いています。雨の日も暑い日も、学校の環境を整えてくださる用務員さんのおかげで、子どもたちは気持ちよく学校生活を送っています。何気なく使っている教室や廊下、壊れたところがすぐに直っていること一つ一つに、日々の支えが感じられます。



給食の時間になると、温かく、おいしい給食が届きます。栄養や安全に配りながら、丁寧に作ってくださる調理員さんの思いが込められています。昨年度は神奈川県の特選優良学校を受賞しましたが、「今日の給食もおいしかった！」という声が、調理員さんにとって励みになっていることと思います。

また、学校の事務を支えてくださる事務職員さんは、子どもたちが学びに集中できるよう、さまざまな面から学校を支えています。昨年度は、劣化していた鉄棒を新しくし、より遊びやすい環境になるよう申請していただきました。必要なものが当たり前のように整っている背景には、こうした日々の仕事があることを、私自身改めて感じています。

さらに、学校の外に目を向けると、地域の皆様の存在があります。朝の登下校の見守りや、日常のあたたかな声かけなど、地域の皆様に支えられて、子どもたちは安心して学校に通うことができます。



読み聞かせボランティアの「よむよむ先生」は、本の世界を通して、子どもたちの心を豊かにし、本への親しみを広げてくださっています。放課後学習教室「しおかぜ教室」では、子どもたち一人一人に寄り添いながら、学びを支えてくださっています。今回お伝えした以外にも本当に多くの方々が南っ子の為にご尽力いただいております。

子どもたちが普段、当たり前のように過ごしている毎日は、決して当たり前ではなく、多くの人々の思いと行動に支えられています。ぜひ、「ありがとう」という気持ちを伝えられる子どもたちであってほしいと願っています。

人と人とのつながりの中で育つ子どもたち。その真ん中に、本牧南小学校があり、学校を支えてくださる多くの方々がいることを、これからも大切にしていきたいです。

